雲林寺報第23号

2017年8月発行

1月2日　新年祈祷会

お盆を迎えて

お盆でお寺にお参りに見えた方が、お墓の前で目を閉じて静かに合掌している姿をよく見かけます。その瞼の奥には一体誰の面影が浮かんでいるのでしょうか。それは今は亡き両親の姿が生き生きと再現されていることでしょう。はたまた祖父母の姿なのかもしれません。その証拠に合掌を解いたその横顔には喜びがにじみ、安らかな面立ちになっている人が多いからです。お盆の帰省で久しぶりにお寺やお墓にお参りに来た人は「おやじとおふくろに逢いたくて帰ってきました。」と声をかけます。まさに見えない命の糸に引き寄せられるように、故郷を目指して帰って来てしまうのが、このお盆の不思議なところです。また、この日はみなさんとお釈迦様の教えがとても身近になる日でもあります。ふだんは仏教やお釈迦様、さらにはお寺と縁遠い人たちが何の違和感ももたないで、それを話題にすることができてしまうからです。

お釈迦様はおっしゃいました。「どんな人間でも死を避けることはできない」と。しかし日常の私たちは真剣にその教えに耳をかたむけようとはしません。それがお盆には素直に聞くことが出来てしまいます。おそらくそこでは「死」が三人称ではなく、二人称で語られるからなのでしょう。「どこかの誰かの死」（三人称）ではありません。私の命に何かしら連なるご先祖のいのち（二人称）を学ぶのです。そして今度は一人称のいのちを学び、お釈迦様の教えに目覚めていこうとするのが、このお盆の意義なのです。

二十九世住職　轟　紀久

護持会だより

六月二十日、草津温泉ホテル櫻井にて雲林寺護持会総会が行われました。詳しくは護持会より発送される資料をご覧ください。

㊤総会前に総代・世話人で草津山光泉寺様の永代供養塔を視察しました。㊦総会の様子

大本山永平寺（御先祖様の供養参拝）と錦秋の北陸路の旅

恒例となっております「曹洞宗第六教区護持会」主催の参拝親睦旅行を下記の日程で計画しました。檀信徒の皆様の親睦を深めて頂きたく、お誘いあわせの上ご参加下さいますようご案内申し上げます。

期　　日　平成29年11月7日㈫～8日㈬　1泊2日
会　　費　33,000円（法要恩金、参拝料、写真、食事4回含）
申込方法　申込金10,000円を添えて8月末迄当山へお願いします

宿泊 山代温泉ゆのくに天祥

秋の永平寺

梅花流たより

今年は梅花創立六十五周年記念奉讃大会が道元禅師様のおひざもとである福井県にて開催されました。大会式典は福井サンドームで行われ、昭和二十七年創立以来多くの方々が梅花流詠参加を通して一仏両祖のみ教えを学び実践して参りました。講員物故者、阪神淡路大震災二十三回忌、東日本大震災七回忌、熊本地震一周忌の追悼法要も厳修されました。

清興では六十五周年記念大会の新曲「澄みわたる空」の発表がありました。それから、南こうせつご自身のヒット曲「神田川」をはじめ数曲熱唱して下さいました。又、十年前に作詞作曲された「まごころに生きる」を全員で合唱し、つかのまのミニコンサートでしたがこの盛り上がりは若者にも決して負けてはいないと感じたのは私だけではないでしょう。

また、本大会では大本山永平寺にて参加者全員で報恩献詠を奉修するということで式典に続きバス移動となりました。この記念大会の梅花講員にのみ許される勅使門より入山し法堂へと案内されます。途中全山新緑に包まれたコケの鮮やかさを生涯忘れることは無いと思いました。永平寺の法堂において六十五年前に産声を上げた詠讃歌を御開山道元禅師さまに報恩献詠できますことに講員の皆様と共に喜び感謝の念を一層深めた記念大会でした。尚、大会に出席された講員歴二十年以上の宮崎ハナ様には曹洞宗官長より表彰状と奨励賞が授与されました。おめでとうございます。

轟　美代子

梅花流群馬県奉詠大会　宮崎ハナ

第六十回梅花流群馬県大会が、六月二十二日に桐生市民文化会館シルクホールに於いて開催されました。今年は十一月に桐生市の大雄院様で梅花授戒会が行われるために六月の大会になりました。開会式に続いて東日本大霊災物故者七回忌法要が行われ謹んで冥福をお祈り致しました。

登壇奉詠は常林寺講、無量院講、雲林寺講の合同で三十七名、課題曲は「太祖常済大師讃抑御和讃と御詠歌」でした。講員の皆様方が心を一つに素晴らしいお唱えが出来た事を本当に嬉しく、日頃より美代子先生の熱心なご指導に改めて深く感謝致します。

そして、中国浙江省から参加された皆様が中国語と日本語でお唱えされ、師範詠範の先生方は中国語で正行御詠歌をお唱えされ、感動で胸がいっぱいになりました。中国、日本と仏祖のみ教えに一つになれたことは素晴らしい事と思います。

清興として三遊亭円楽さんの落語独演会が行われ会場が大変な笑いの渦でした。本当に楽しいひときでした。これからも講員の皆様といつも和をもって詠道を学んで参りたいと思います。この和の中に新講員さんも是非参加して頂ける様、お待ちしています。一緒に詠讃歌を学びましょう。

雲林寺では毎月2回2時間程度ご詠歌（梅花流）の会がございます。参加費は無料です。ご詠歌は、ご供養の気持ちを心温まるメロディーにのせて歌います。初めての方でも是非お気軽にお越しください。お待ちしております。※見学も可能です。

梅花流創立65周年記念奉讃大会
曹洞宗
群馬県
梅花流創立65周年記念奉讃大会
平成29年5月25日 サンドーム福井 No.G 12

上段左より　佐藤ふさ子様　篠原禮子様　常林寺講様　黒沢節子様　山崎トシヨ様　渡辺しず子様　中澤至子様

中段左より　常林寺講様　無量院講様　四名　吉崎栄子様　宮崎ハナ様　依田たつ子様　山野栄子様　原澤幸子様　落合雅子様

下段左より　常林講様　無量院副住職　常林寺寺族様　宗務所副所長様　宗務所所長様　宗務所教化主事様　轟美代子詠範　宮崎恵美子様　山本節子様

第九回雲林寺親睦ゴルフコンペ

開催日　十月九日（体育の日）
場所　草津カントリークラブ

今年もゴルフを楽しんでいる檀信徒様の親睦を深めたく、開催致します。過去参加者にはお葉書きで通知致します。新規の方も是非ご参加ください。ご連絡頂ければ詳細をご案内致します。

除夜の鐘

開催日　十二月三十一日
時間　午後十一時四十五分～

除夜の鐘は多くの寺で一〇八回撞かれています。数の由来については複数の説がありますが一般には「煩悩」説が有名です。除夜の鐘はこの「煩悩」を消し去り、欲を持たない心で新年を過ごすための行事となっていますが、その鐘を自分で撞く事が出来たら、その一年は正しい心で生きていけそうな気がします。当山ではお越し頂いた方全員に撞いて頂いております。お待ち申し上げます。

編集後記

紙面で報告の通り、五月に吾妻仏教会主催の「花まつり」が、当山雲林寺で行われました。吾妻仏教会とは、宗派を問わずの吾妻二十九ヶ寺で構成されている会です。三年前より「花まつり」が輪番で開催されています。宗派を問わず、お寺の住職達が集い、その寺に沢山の方々が集う「花まつり」の法灯をともしび続ける努力は必要不可欠です。そして檀信徒の皆様方や地域の方々が気軽に足を運んで頂けるような寺院を増やしていかなければならないと切に感じました。

お盆を迎え、お盆が過ぎ、まだまだ処暑、皆様それぞれに体調には十分ご留意して頂き、一行三昧の日々をお過ごし頂きたいと思います。

副住職　轟　省吾